



25

25

早瀬秀作



梅に...

■ 下午より芝居場。半ば死したる人の

に寝入してゐる。つまづきて倒れ

は空つ臥してゐる。世々あつた世々

光子

あ、あなた、どうあつたか。

あなた、いゝ秀作を抱き起す。

秀作

あ、光子！ (おつと)

建物の方をおのる。月の光りが

はれぬ

光子

こつくりしてくたさい。あふた

にもしこのことかあつたらどろし

おれ、しつくりあつてくたさい。

秀作

わしももう怯つた。わしは何れ考

へまい。人間といふものは弱いもの

人並に心の修養を積んで

た。だがいざとあつたあたま

光子

無理もありません。(新しい建

物の力を眺めよ)

秀作

けさ、藤の家の窓の

床板が剥がれ、しつかりと

MARUZEN

光子にかけらる

